

令和 4 年度県立都市公園管理運営検討委員会における意見等への対応状況

【花巻広域公園】

委員からの意見	検討委員会時における指定管理者の回答	現在の状況
<p>利用者が少なくなっている。どう魅力あるものにしていけるか、考えていきたい。高齢者が散歩するなど、自然に接した方がよいと思うので、花など魅力ある取組をしたほうがよい。</p>	<p>—</p>	<p>今年度は、管理事務所前花壇の整備の他に、レストハウス、緑の休憩所、展望台下付近といった来園者の目に触れやすい場所へ花を植えました。次年度に向けて、既に植え付けているビオラなどの花もありますので、咲く時期になりましたら来園者に好評いただけるものと思われます。</p> <p>なお、自主事業のぎんがのもりまつりでは、アンケートにご協力いただいた参加者へ花苗を配布するなど、都市緑化推進への理解を図る取組を継続的に行っています。</p>
<p>そもそも全体人口が減り、高齢化も進んでいる中、増やすことは難しいです。今まで来ていなかった場所からも来るようになれば利用者は増えると思いますが、工夫の余地はあるか。</p>	<p>ゴルフ人口は減少している。年齢層も、県民ゴルフ場の料金がシニア層に有利になっている面もあり、シニア層の利用が多く、若年層の利用は少なめ。今後高齢化が進むと、一番大きな収入源である県民ゴルフ場の利用料が少なくなるという危機感は感じている。</p> <p>公園については、子ども、親の 30 代の家族連れが多く、遠足では盛岡近辺からも来園している。催事については、各学校にパンフレットを渡して集客を図っているが、コロナ禍で思い切った大きな広報がしづらかった。来年度以降はウィズコロナを踏まえ、広報していきたい。</p>	<p>ゴルフ場においては、今年度新たに割引料金での利用が可能な優待券を県誘致企業や盛岡市、北上市、奥州市等のゴルフショップへ提供したことや商工会議所の広報紙にゴルフ場の PR 記事を掲載していただくなど、施設の認知度向上や新規利用者の獲得を図りました。</p> <p>公園については、集客を見込める各自主事業の広報について、人口の多い盛岡地域に向けて、県体育施設へのポスター設置を行いました。また、県の広聴広報課の協力のもと、県内商業施設へのチラシ・ポスターの配架など、全県的な広域の広報に取り組みしました。</p>

<p>県民ゴルフ場が、お金の面で生命線、収益源となっている。物価等の高騰が続くなか、コスト面の状況が表からは見えませんが、現場の工夫は何か。</p>	<p>ゴルフ場の収入は各年で変動が大きく、指定管理者が担う事業全体として赤字になり苦しい。そうした中で、減らせる消耗品は減らす、12月は雪のある時期は勤務日数を少なくする等、経費節減を図っている。</p>	<p>ゴルフ場においても、より効率的、効果的な業務運営となるよう、厳格な予算執行に努めるとともに、利用料収入の増収に取り組んでいます。今年度は、やむを得ず、ゴルフコース管理している地域職員の勤務日数を減らすなど固定的経費の節減に努めました。</p> <p>しかしながら、ゴルフ利用者の減少により収入減となる一方、人件費の増や、光熱水費、燃料費、物価の高騰により経費は増額傾向となっています。今後、指定管理者の自助努力で収支を均衡させることは限界があるため、県としても早急に有効な対策を併せて講じられるよう期待しております。</p>
<p>公園側から企画を打っていかないと、黙っていても働きかけが難しい時代になっている。ウォーキングの初心者、ライトユーザー向け企画など進めていただければと思う。</p> <p>収益の観点から言うと、新たな取組が必要と考える。地域の人が憩いの場として使うのは、都市公園の価値といえる。また、ファミリーで楽しむ企画など、子どもたちが自然に触れ合う場としての価値もあると思うので、利用者増に向けた対策を進めていただきたい。</p>	<p>—</p>	<p>今年度は新たな自主事業として、陸中海岸青少年の家から指導員を講師として招き、家族で楽しむことができる「ぎんがのもり手づくりスタジオ」という創作教室を開催しました。内容としては、木の枝や松ぼっくりなど自然のものを利用した木製フォトフレーム、海をイメージしたクリアキャンドル、自分の好きな絵柄を写せる缶バッジ創作となっており、参加者からも家族全員で参加できてよかった、普段体験できない創作活動ができて良かったとの声が聞かれ、施設利用者の増に繋がりました。</p> <p>参加者からの満足度も高いノルディックウォーキング教室も、今年度は春と秋の2回開催して</p>

		<p>おります。あまり運動習慣のない年配の方や家族連れにも好評となっていることから、今後も継続開催していきます。また、健康づくり事業で公園を利用している老人クラブなどに対し、積極的に教室への参加を促していきます。</p> <p>園内行為では、北上市在住の方が中心となって企画された催し「ピクニックまるしえ」が開催されました。内容としては、県内や隣県で活動しているクラフト作家の方やキッチンカーでの移動販売をされている方、計 45 店舗が出店する大型イベントとなり、施設利用者数の増にも繋がりました。収益的な面でも増収が見込まれることから、今後、同様のイベントや企業、学生などによる園内行為利用を誘致できないか、施設の PR を実施していきます。</p>
--	--	--